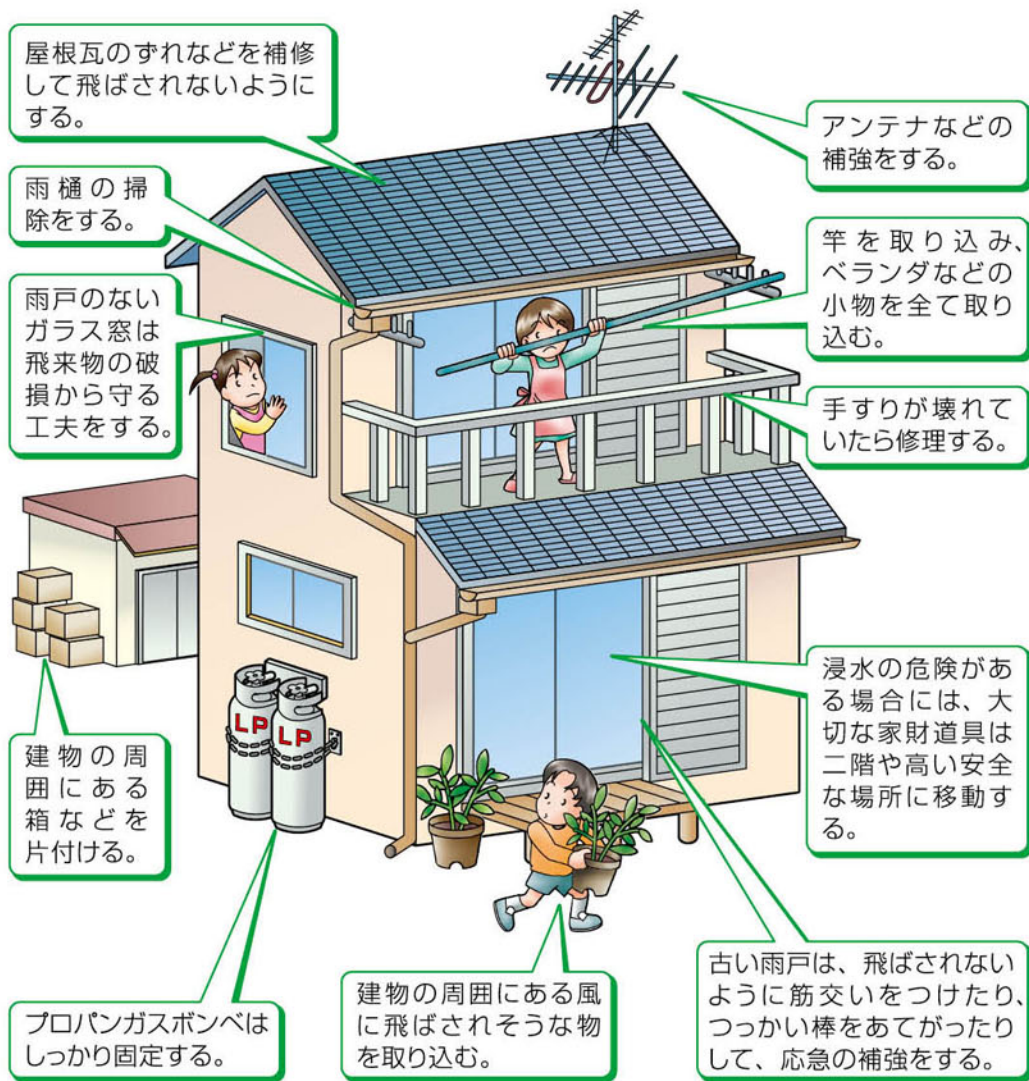


日頃からの心がけ

風水害に備えておくべきこと

台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。

●建物などの事前準備



●家族の準備



- 必要最小限の非常用持ち出し品を準備しましょう。(地震対策としても日頃からの準備が大切です。)
 - 懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池も準備しましょう。
 - 生活用水を貯めおきましょう。(飲料水は1人1日3リットルが目安です。)
 - 指定緊急避難場所までのルートをあらかじめ決めておき、安全に通行できるかを実際に歩いて確認しておきましょう。
- ※外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合もあります。離ればなれになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所・集合場所を日頃から十分話しあっておきましょう。

各家庭で備えましょう

●簡単な土のうの作り方

水深が浅い段階なら、家庭にあるごみ袋、レジャーシート、プランターなどを活用した応急処置で対処が可能です。

《ごみ袋を利用》

大きめのごみ袋などを二重にし、中に半分程度の水(ふろの残り水などが便利)を入れ、すき間なく並べます。段ボールに入れて連結すると、強度が増し、積み重ねることもできます。



《シートを利用》

土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシートを巻き込んで補強します。プランターの代わりに水を入れたポリタンクや重くしたビールケースなども利用できます。

